

緊急時対応マニュアル

令和6年度

江戸川区立清新第二中学校

確認事項

- ① 生活健康部「生活指導の手引」の緊急時体制を熟読する。
- ② 年間安全指導計画・年間避難訓練計画を大まかに把握しておく。
- ③ 消防計画(防災計画)に目を通しておく。

自分の防火担当箇所(安全確認箇所)を把握しておく。

- ④ 「警報ブザー」の対応等、主事室にある対応表で確認しておく。
- ⑤ 「学校保健のしおり」を読み、応急手当、救急車要請の方法等を熟知する。

(万が一に備えて救急体制と心肺蘇生法を熟知しておく。)

- ⑥ 「災害時引き渡しカード」の回収を行う。

* 平成 29 年度2学期から導入。全員から回収できているか、確認をしてください。
全家庭からの回収をお願いします。

1. 緊急時の体制

「生活指導の手引 抜粋」

2. 健康管理等

「長期休業中のしおり 抜粋」

3. 年間防災計画（安全指導・避難訓練）
防火担当箇所（安全点検箇所）

「消防計画・防災計画 抜粋」

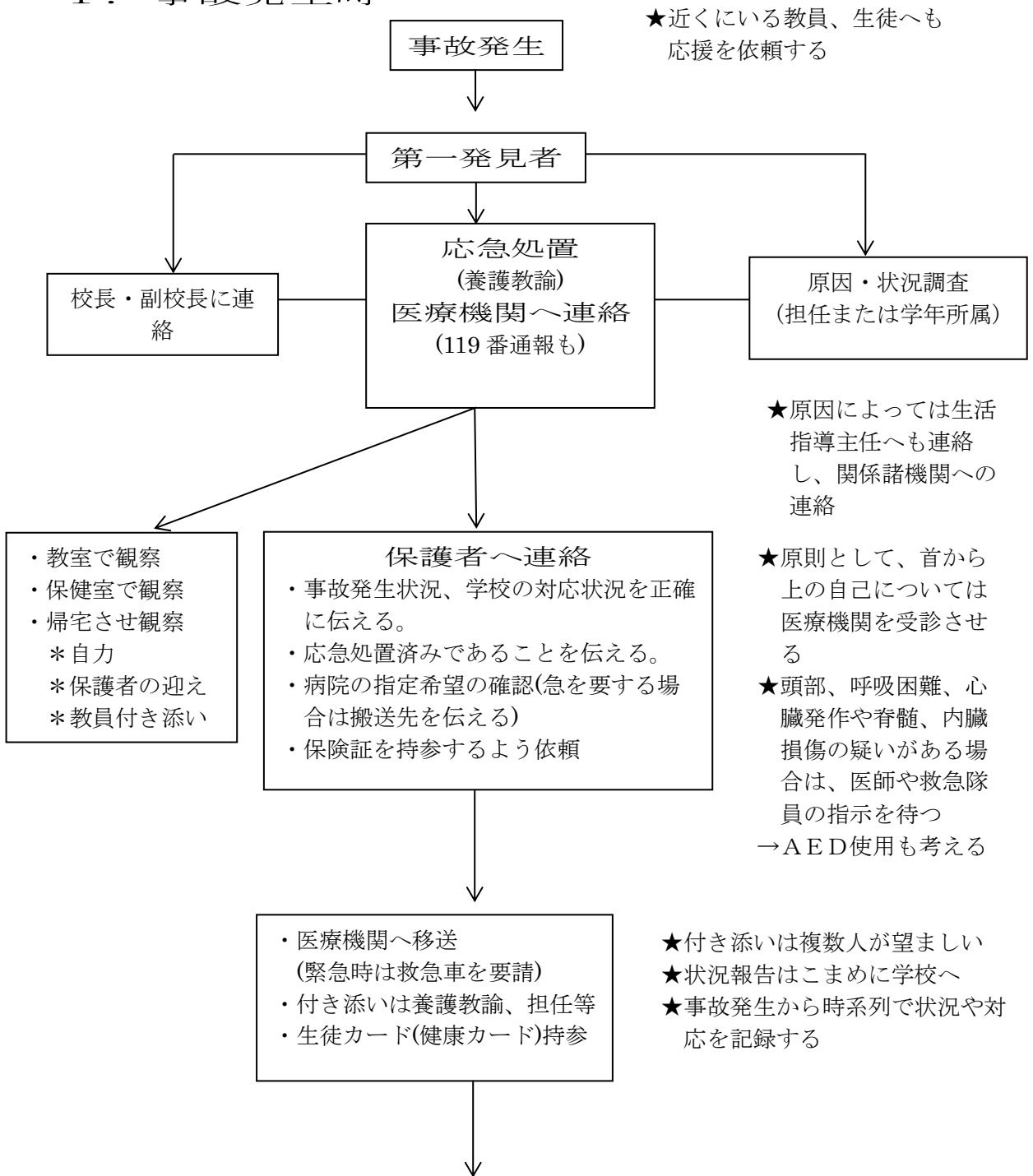
4. 儀式等での緊急避難・対応
（今年度の入学式）

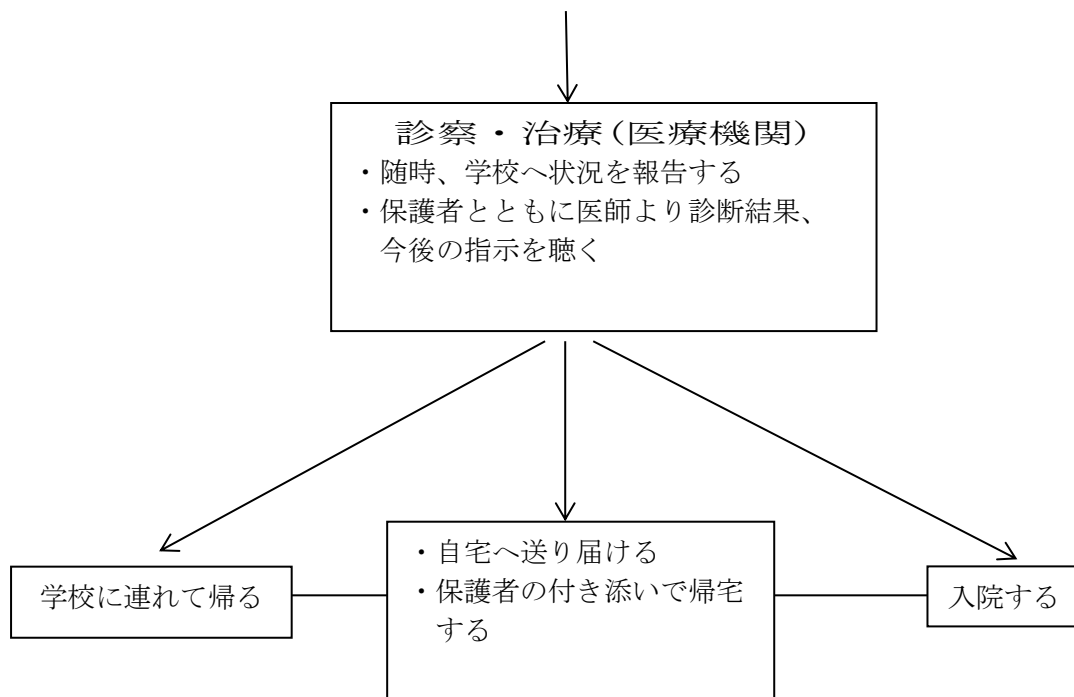
5. 参考資料

- ①災害時引き渡しカード
- ②災害時緊急対処用具一覧

1 緊急時の体制

1. 事故発生時





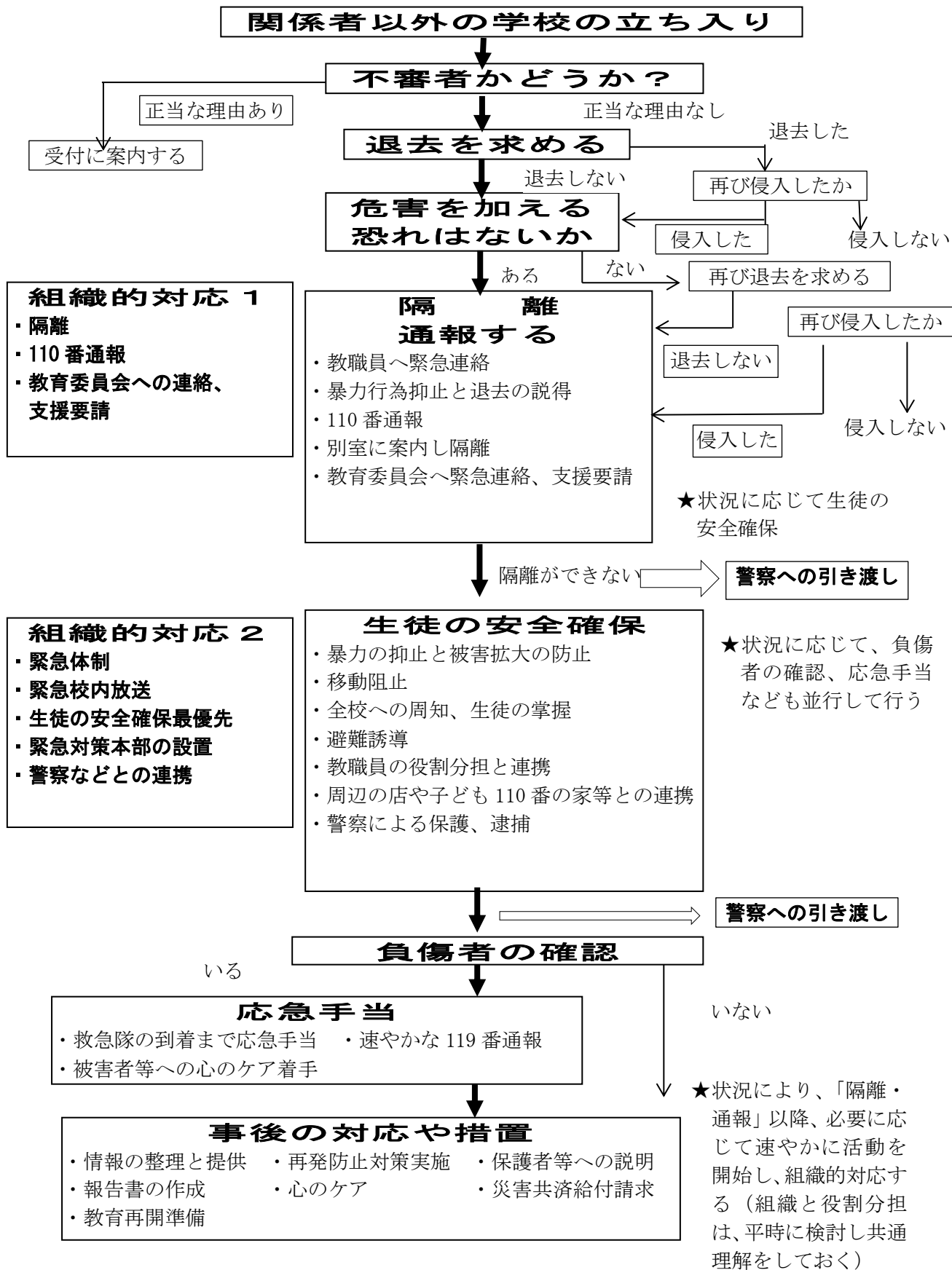
★学校保健センターを使用するかどうか保護者へ確認

【報告】
 (養護教諭、担任等より)
 ・帰校後、校長・副校長へ報告
 ・帰校後、関係した教職員へ報告
 ・翌日、全教職員へ報告

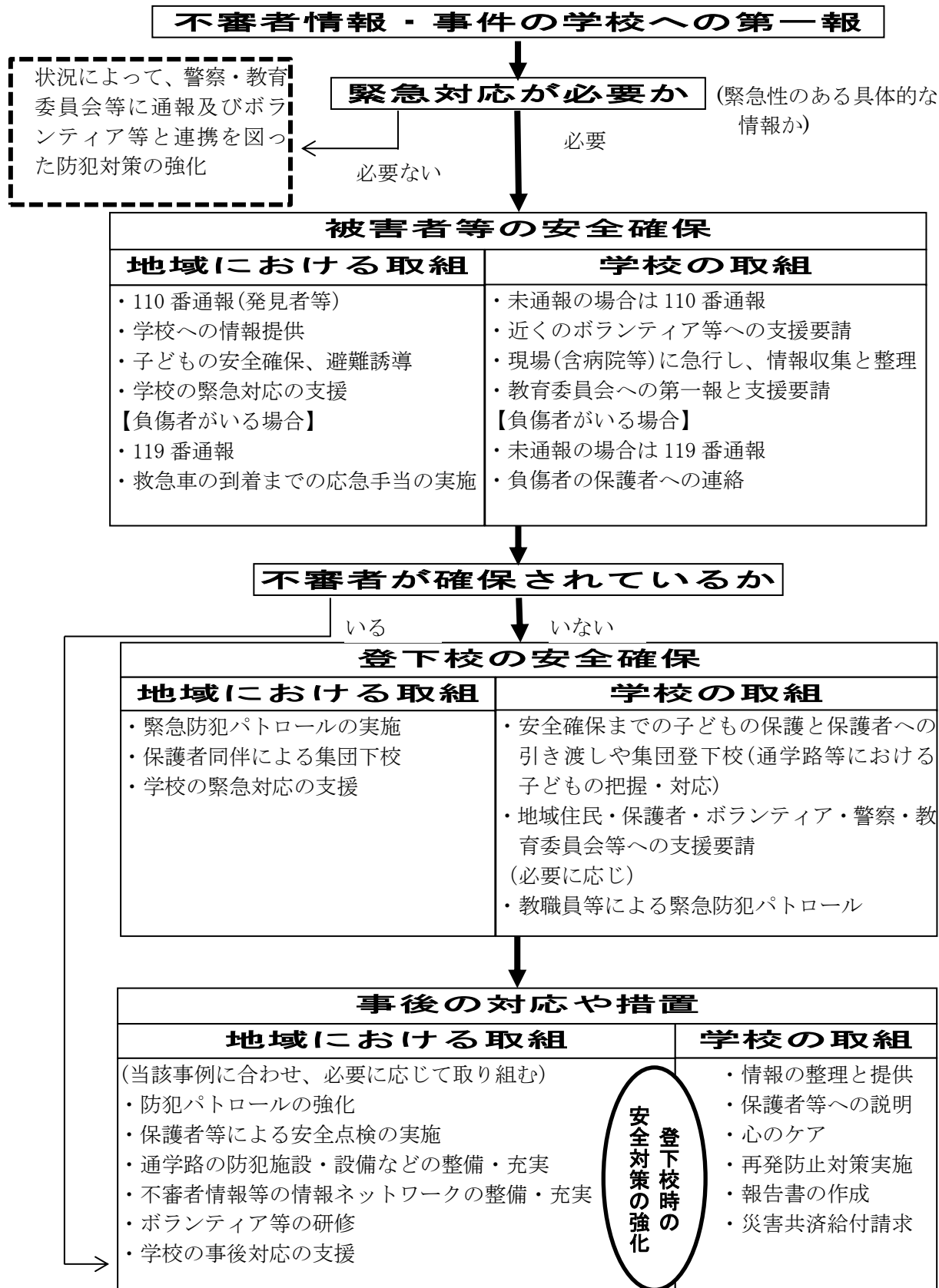
※生徒の事後の経過を引き続き観察していく（担任、養護教諭、他）

- ① 事故の原因、発生後の措置等についての問題点を明確にし、事故の再発予防と安全管理・安全の徹底を図る。
- ② 事故に対する外部からの問い合わせ、取材等に対しての窓口は校長・副校長のみとする。（窓口の一本化）
- ③ 保護者に対して日本スポーツ振興センターによる給付金について十分に説明し、養護教諭が必要な手続きを行う。
- ④ 必要に応じて、保護者・地域へも事実を伝え説明する。

2. 不審者侵入時



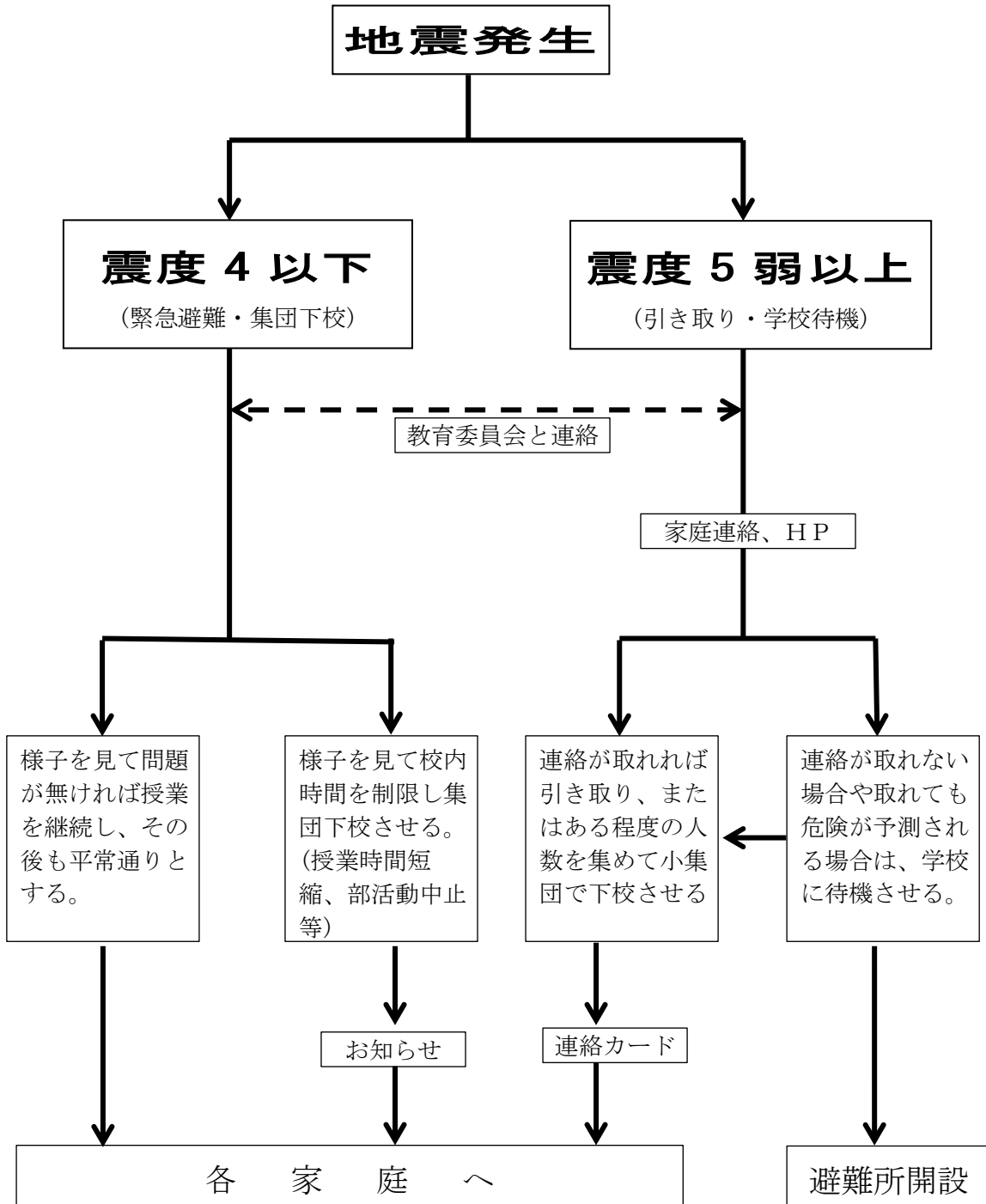
3. 登下校時



※地域とは「地域住民・保護者・ボランティア等」を示す

4. 地震発生時

①授業時の場合



②休日等の活動時（部活動等）に震度5弱以上の地震が発生した場合

【校舎内での活動中】

- (1) 緊急避難場所 ア：校舎——→校舎
 イ：校舎——→校庭
 ウ：体育館——→けやき広場——→校庭

(2) 人員確認、安全確認する。

(3) 保護者連絡、生徒帰宅方法の確認（次のいずれか）をする。（連絡カードを渡す）

A：学校引き渡し B：確認後自分で帰宅
C：帰宅途中、事前の打合せ場所で待ち合わせをして帰る

※事前に部活ごとの緊急連絡網をつくっておく。

(4) 保護者に連絡が取れない場合は生徒を学校に待機させる。連絡が取れ次第上記のように対応する。

【学校外での活動中】

(1) 活動場所の責任者の指示に従い避難する。

(2) 生徒の状況（被害状況など）、帰宅方法を学校（清新二中）に連絡する。

(3) 帰宅方法

《公共交通機関が運転している場合》

ア 清新二中まで全員で帰校する。

イ 保護者に連絡し、帰宅方法を確認する。

A：学校引き渡し B：確認後自分で帰宅
C：帰宅途中、事前の打合せ場所で待ち合わせをして帰る

ウ 保護者に連絡が取れない場合は生徒を学校に待機させる。

《公共交通機関が運転していない場合》

ア 活動場所に待機する。

イ 顧問より現地の状況を学校に連絡する。

ウ 保護者に連絡し、帰宅方法を確認する。

A：現地引き渡し B：確認後自分で帰宅
C：帰宅途中、事前の打合せ場所で待ち合わせをして帰る

エ 保護者に連絡が取れない場合は現地で待機する。

オ 公共交通機関が動き出したら、生徒の安全確認をして清新二中に帰校する。

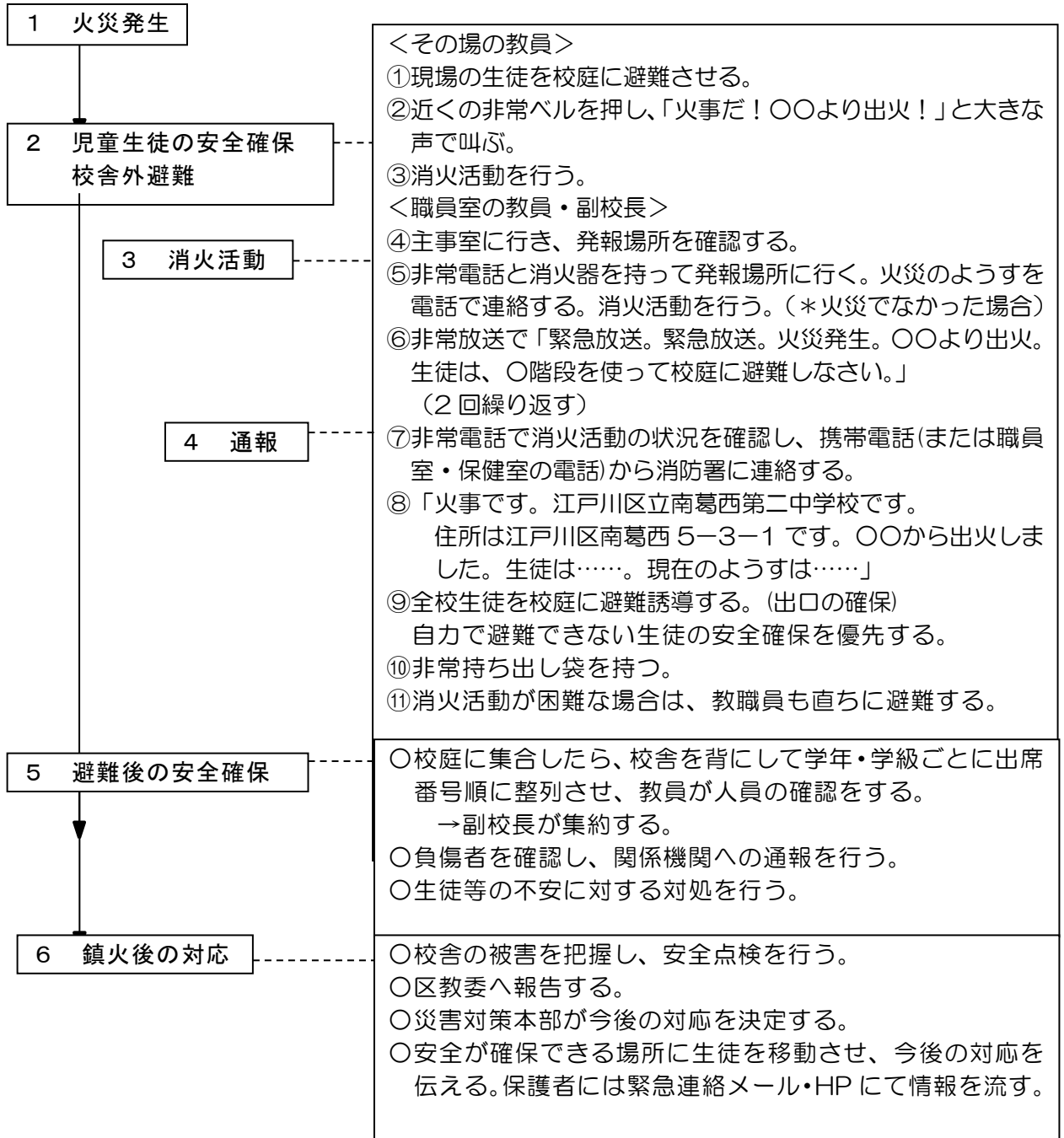
カ 保護者に連絡して下記のように対応する。

A：学校引き渡し B：確認後自分で帰宅
C：帰宅途中、事前の打合せ場所で待ち合わせをして帰る

※緊急連絡のため、部活動生徒の保護者代表と顧問が連絡を取れるようにしておく。

5 火災発生時

火災発生時の基本的対応要領



*火災でなかった場合

非常ベルが間違っって押された場合には、主事室の

警報

盤横のマニュアルにより復旧作業を行う。

◎ 留意事項

〇. 平常時

- (1) 出席簿の表紙の裏に、在籍数を記入した「確認票」を常備しておく。
- (2) 毎日、職員室前の「生徒出欠表」に始業時の出欠状況や、遅刻・早退の状況を記入しておく。

■授業中(教員が指導している時)… 教員は生徒に適切な指示を与え、避難させる。

1. 避難前

- (1) 緊急放送を良く聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- (2) 「窓をしめ、カーテンを束ねる(開ける)。扉をしめ、電気を消す。」ことを指示する。
- (3) 生徒を廊下に出し、2列に並ばせる。

2. 避難中

- (1) ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お(おさない)、か(かけない)、し(しゃべらない)、も(もどらない)」を守らせて移動させる。
- (2) 階段を降りるときは、上の階のクラスが内側、下の階のクラスが外側を歩く。
(待たせない)
- (3) 最後のクラスが避難したら、担当者が防火扉を閉める。

3. 人員確認

- (1) 校舎を背にして(火を見せない)、クラスごとに出席番号順に並ばせる。
* 少人数指導の場合もクラスごとに並ばせる。
- (2) 担任(または教科担任)が、生徒の肩を叩いて点呼を行い、その場にしゃがませる。
- (3) 担任(または教科担任)は、確認票に不在生徒の数と名前を書いて副校長に報告する。
「〇年〇組、在籍〇名、欠席〇名、現員〇名、異常なし・あり(〇〇が不明)」
* 「欠席」とは、その時点での不在生徒のこと。(欠席・早退・遅刻・公欠を含む)
<避難完了>
- (4) 担任がクラスにつく。

■休み時間等(教員が指導していない時)… 生徒は自主的に判断して、避難を行う。

1. 避難前

- (1) 緊急放送を良く聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- (2) 近くの窓をしめ、カーテンを束ねる(開ける)。扉をしめ、電気を消す。

緊急性を感じたら迷わず、即 119 !

2. 避難中

- (1) ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守って、安全な避難経路を通過して移動する。

3. 人員確認

- (1) 校舎を背にして、クラスごとに出席番号順に並ぶ。
(2) 教員の指示に従って、待機する。

2 健康管理等

A 光化学スモッグ対策

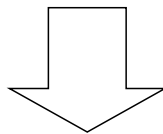
- (1) 予報・学校情報・注意報・警報が発令されたときは、その旨を活動中の指導者に連絡する。
- ① 予報…屋外の部活動指導者に連絡し、生徒の健康観察を行わせる。
 - ② 学校情報…努めて屋外での活動を取り止め、生徒を校舎内に退避させる。
 - ③ 注意報…努めて屋外での活動を取り止め、生徒を校舎内に退避させる。
 - ④ 警報…屋外活動を取り止め、生徒を校舎内に退避させるとともに、体育館内でも過激な運動を避ける。
- (2) 予報・学校情報が出ていなくとも、目がチカチカするなどの異常が認められたら、生徒の健康観察を注意深く行うとともに、適切な処置を取るよう指導者に連絡する。

B 熱中症対策

- (1) 指導者は常に気象状況に気を配る。
- ① 普通教室では冷房を使用し、室温の上昇を抑える。
 - ② 体育館では温度・湿度を確認し、高温多湿時には休憩・給水を心がける。
 - ③ 校庭では温度計が31℃を超えたら、極力活動を控える。活動させる場合、休憩・給水をこまめにとらせる。

C 落雷・雷雨対策

- (1) 指導者は天候の急変などの場合は、適切な措置を講ずる。
- ① 警報が出た時の急な気象の変化に注意し、室内に避難させる。
 - ② 気象が変わる前に下校させる。



健康被害発生時

- ① 校長・副校長に報告をし、指示を受ける。
- ② 被害状況の記録（発生日時、場所、症状、状況、環境、処置など）を取る。

事故発生時の処置について

事故発生に関しては、管理職に連絡し指示を得ること。管理職不在の場合は、必ず複数職員で対応することを心がけ、時間経過に沿った詳細な記録メモを取るようにする。場合によっては、管理職の指示により教育委員会（指導室）、外部機関との連絡を行う。

【事故対応の内容】

- ア、火災の場合：状況によって応急消火。生徒の完全退避。消防への連絡。
重要書類（生徒指導資料）の搬出・安全確保。
- イ、けが、病気：校医（田島クリニック3687-1161）に連絡。
状況によって救急車の要請と家庭への連絡をする。
- ウ、その他の事故：職員、生徒等が伝染病に感染した場合、火災や風水害等で被害が発生した場合には、校長、副校長に連絡し、内容によって適切な措置をとる。

【緊急連絡先】

清新第二中学校 = 3877-6631 (fax 3877-6672)

校医（田島クリニック）= 3687-1161

東京臨海病院 = 5605-8811

清新外科クリニック = 3675-4707

森山記念病院 = 5679-1211

葛西循環器脳神経外科 = 5696-1611

片岡整形・形成外科 = 5667-1623

葛西眼科 = 3687-7710

西葛西耳鼻咽喉頭科 = 3686-8733

区教育委員会・指導室 = 5662-1634 (直通)

葛西警察署（少年係） = 3687-0110 (内線315)

江戸川消防署 = 3656-0119 (救急車の手配)

セコム（警備会社） = 3652-5360

令和6年度避難訓練年間計画

日程／担当	時程	実施計画	内容
4月10日(水) 上埜	終学活	基本行動の確認	・火災、地震、津波、台風時の避難経路の確認
5月22日(水) 上埜	終学活	地震の一時避難 校庭避難	・一時的な安全確保の方法と校庭への避難の仕方を身につける。
6月21日(金) 田中	定期考 査終了 後	地震訓練 二次避難 地域班確認	・震度5弱以下の関東直下型地震 ・机の下にもぐる ・校庭に避難し、地域班に並べかえる ・地域班名簿の作成と伝達
7月16日(火) 北村	6校時 (道徳)	不審者対応	・教室内に机といすでバリケードを作る
9月2日(月) 始業式 上埜	終学活	地震訓練 二次避難 地域班下校	・震度5弱以下の関東直下型地震 ・机の下にもぐる ・校庭に避難し、地域班での下校
10月4日(金) 田中	終学活	地震 台風訓練 二次避難	・東京直下型地震・大雨(台風)時 ・机の下にもぐる ・体育館に避難
11月15日(金) 第3回定期考査 北村	定期考 査終了 後	火災訓練	・定期考査終了後、学年ごとに防災訓練 (起震車、消火器、煙体験)
12月20日(金) 上埜	昼休み	火災訓練 二次避難	・昼休みに美術室より出火 ・西階段使用不可 ・各自校庭避難、安全確認
1月17日(金) 田中	終学活	地震訓練 二次避難	・校庭液状化により避難不可のため、 けやき広場に避難
2月15日(土) 北村			
3月5日(水) 上埜	6時間 目 終わり 15分	地震訓練 二次避難	・東京直下型地震 ・教科授業で担当の先生が校庭まで誘導 ・校庭に避難

※ 行事予定の変更等で、日付・時間の変更がある場合があります。
運営 ⇒ 職員会議に間に合うように要項作って上埜へください。

1. ねらい

- (1) 非常事態に対応して、安全に避難する能力と態度を身につけさせる。
- (2) 規律ある集団行動を身につけさせる

2. 警報伝達の方法

- (1) 火災を知った者は、ただちに校長または代行者に連絡する。
- (2) 火災の報告を受けた者は、校内に通報するとともに、消防署に連絡する。

3. 避難の方法

- (1) 火災（震災）発生の知らせにより、各担当教員は的確な指示を与え、安全迅速に避難する。
- (2) 教員は、避難予定地に誘導後、人員を確認し避難誘導係に連絡する。避難誘導係は本部（副校長）に報告する。副校長は校長に報告する。
- (3) 校長は、人員異常の有無を到着した消防隊長に報告する。

4. 避難隊形（校舎から校庭）及び避難要領（授業時を基準とする）

- (1) 災害発生、避難準備の通報に際しては、無言・沈着・整然を厳守させる。
- (2) 担任（教科・学級）の指示
 - ① 荷物（学用品等）は持たない。 ② 上履きのままで出る。
 - ③ 火点上層階の生徒の避難が優先。 ④ 身体不自由者の確認と級友助力の指示。
 - ⑤ 窓の開閉（原則） 校内出火の場合；窓はそのまま。
校外出火の場合；窓は閉める
- (3) 担任は出席簿を持って出る。残留者がいないことを必ず確認する。
- (4) 避難隊形
 - ① 男女学級委員先頭、男女各1列背の順に整列。
 - ② 校舎内は絶対走らない。校庭に出たら駆け足。
 - ③ 原則的に朝礼隊形。
- (5) 人員点呼・報告 ； 学級委員→担任→学年主任→副校長→校長
(避難誘導係→自衛消防隊本部)

報告の仕方 『 ○年 ○組、 総員 ○○名、 現在員 ○○名（欠席○○名）
異常ありません。（異常あり、 が、いません。） 』

防火担当責任者

101	せいに学級教室	特支学級主任	216	教育相談室	副校長
102	せいに学級職員室、個別指導室	特支学級主任 〃	217	印刷室	教務主任
			218	進路相談室	進路指導主任
103	美術室 〃 準備室	美術主任 〃	219	多目的室	3学年主任
			〃	教材室	社会科主任
104	保健室	養護教諭	220	職員更衣室	副校長
105	図書室	図書主任	221	和室	副校長
106	音楽室 〃 準備室	音楽主任 〃	222	更衣室	体育主任
			223	更衣室	体育主任
107	木工室 〃 準備室	技術主任 〃	224	管理室	体育主任
				2階トイレ	清掃担当
108	金工室・準備室	技術主任	体育館	体育館2階	体育主任
109	パソコン室	技術主任	301	区文化財係	担当係長
	主事室	用務主事	302	区文化財係	〃
110	教材室	用務主事	303	区文化財係	〃
111	焼成室	美術主任	304	区文化財係	〃
112	備蓄物資倉庫	副校長	317	区文化財係	〃
113	体育用品等倉庫	体育主任	305	介助員室	副校長
剣道場 柔道場	体育館1階 (サフアリーナ)	体育主任	306	1年C組教室	学級担任
給食室	給食室	栄養士 (委託業者主任)	307	1年B組教室	学級担任
	1階トイレ	清掃担当	308	1年A組教室	学級担任
201	区文化財係	担当係長	309	2年B組教室	学級担任
202	区文化財係	〃	310	2年A組教室	学級担任
203	区文化財係	〃	311	英語科教室	英語科主任
204	区文化財係	〃	312	更衣室	体育主任
226	区文化財係	〃	313	レインボーホール	副校長
205	生徒会室	生徒会担当	314	第1理科室 〃 準備室	理科主任 〃
205	更衣室	生徒会担当	315	第2理科室	理科主任
206	数学科教室	数学科主任	316	PTA室	副校長
207	3年B組教室	学級担任		3階トイレ	清掃担当
208	3年A組教室	学級担任	体育館	体育館3階	体育主任
209	会議室	教務主任	〃	〃 倉庫	体育主任
210	放送室	放送担当	〃	〃 放送室	放送担当
211	職員室	副校長	プール	4階プール	体育主任
212	校長室	副校長	〃	4階更衣室	体育主任
213	事務室	事務主任	〃	4階シャワー室	体育主任
214	調理室・準備室	家庭主任	〃	4階トイレ	体育主任
215	被服室・準備	家庭主任	〃	4階機械室	体育主任

入学式当日、大地震が発生した場合の緊急避難・ 対応について（案）

- 1 目的 式に参列した人々全員の人命確保
- 2 想定 卒業式開式後、避難が必要なほどの地震が発生した場合
- 3 人員 式当日考えられる最大人員数
- | | | | | |
|-------|-------|-----|---|------|
| ① 生徒 | 1年生 | 90名 | | |
| | 2年生 | 61名 | | |
| | 3年生 | 77名 | 計 | 228名 |
| ② 来賓 | | | | 20名 |
| ③ 保護者 | | | | 120名 |
| ④ 教職員 | | | | 30名 |

約398名

4 指揮系統

学校長 → 生活指導主任 → 各教職員

5 避難経路確保のための誘導係について

実際に避難をしなければならない状況になった時を想定し、次の箇所に誘導係を配置する。また、その誘導係は、それぞれ次の箇所の避難口を確保するものとする。

- ① 体育館出入口..... 2名 → 体育館の出入口
- ② 体育館1F けやき広場側の出入口..... 2名 → けやき広場への出口
- ③ 主事室..... 2名 → 正面玄関側のドアおよび校庭側のドア
- ④ 2F西階段..... 2名 → 2F西階段

6 具体的な避難の方法について

(1) 1次避難から2次避難への流れ

- ① 揺れは大きいですが、体育館内の破損が見られないとき。
その場でなるべく姿勢を低くし、座っているイスで頭を保護する。
そのまま体育館内で待機する。
- ② 揺れが激しく、体育館内の物品が落下する可能性が考えられるとき。
その場でなるべく姿勢を低くし、座っているイスで頭を保護する。急を要すると判断された場合には、たとえ揺れが収まっていなくても指示に従って避難を開始する。

- ◆避難する際には、必ず頭にイスをのせ、その保護に努めさせる。
- ◆原則2列縦隊で移動する。

(2) 避難経路について

- ①(Bグループ) 体育館の出入口を出てすぐ左手にある階段を通過して【けやき広場】に避難する経路
- ②(Aグループ) 体育館の出入口を出て、校庭側の廊下を通行し、校舎内の西階段を降りて玄関から【校庭】に避難する経路
- ③(Cグループ) 体育館の出入口を出て、けやき広場側の廊下を通行し校舎内の西階段を降りて玄関から【校庭】に避難する経路

(3) 最終避難場所：「校庭の陸上競技場側(通常の避難訓練で集合している場所)」

原則として、式に参列した全員が一箇所に集まる。これは、人員確保を確実に行うためである(分散してしまうと人員の確認が困難になってしまう)。

(4) 避難する際のグループ分け

別紙参照

7 教職員の係分担

役 割	担 当
総責任者、最終判断者、最終指示者	学校長
全体指揮および全体への指示	生活指導主任
体育館内最終確認	生活指導主任
避難経路の確保およびそのための誘導係	① 体育館出入口 ② 体育館1F けやき広場側の出入口 ③ 主事室 ④ 2F 西階段
避難誘導	Aグループ Bグループ Cグループ
避難後の人員確認 ※各クラスの名表を準備 ※整列は出席番号順とし、担任自ら人員確認を行う。 ※来賓、保護者は受付名簿を見て行う。	1 A：担任 1 B：担任 1 C：担任 2 A：担任 2 B：担任 3 A：担任 3 B：担任 来 賓：事務・用務主事 保護者：せいに学級教師
避難後の人員確認の集約	副校長
救護 ※救急セット準備、けが人の応急処置	養護教諭

令和 年 月 日

保護者様

江戸川区立清新第二中学校

校長 白石亨

災害時引渡しカード提出のお願い

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本校では、大災害に備え防災・減災への取り組みを進めており、大震災については、先の東日本大震災を踏まえて対応マニュアルの見直しを行っております。本校では『「震度5弱」以上、または、公共交通機関がマヒした場合、生徒を学校内に留め置き、保護者または事前に登録した代理の方のみに引き渡す』こととなっております。そこで、平常時より『災害時引渡しカード』を作成しておくことが必要となります。

つきましては、裏面の記入例に従い、別紙の『災害時引渡しカード』に必要事項をご記入の上、4月 日()までにご提出ください。災害時の引取り者につきましては、必ず、お子様と確認の上、ご記入ください。記入された個人情報につきましては、有事の際のみに使用いたします。

有事の際には、緊急連絡メールや学校ホームページにて引取りのお願いをいたします。保護者の方等の引取りがあるまで、教職員が生徒の安全を確保しつつ待機しております。ご協力よろしくお願いたします。

なお、ご不明な点がございましたら、副校長までお問い合わせください。

災害時引渡しカード

江戸川区立清新第二中学校

- ・ 大災害が発生し、公共交通機関がマヒした時は、学校に生徒を留め置きます。その場合、保護者または事前に登録した代理の方の引取りをお待ちします。
- ・ このカードは、有事に備え、学校内の耐火金庫に保管します。
- ・ 避難状況は、可能な限り、学校ホームページや緊急連絡メールにてお知らせいたします。電話等でのお問い合わせはご遠慮ください。

生徒基礎情報				
1年組番	生	ふりがな	保	ふりがな
2年組番	徒		護	
3年組番	名		者	
現住所	〒			
緊急連絡先	自宅 ()	自宅以外	名称 ()	
	携帯 ()	の連絡先	電話 ()	
	携帯メールアドレス			
本校在学の 兄弟姉妹	年組		年組	
	年組		年組	
	年組		年組	
災害時引取り者				
(学校に迎えに来る人。保護者または代理の方)				
	引取り者氏名	本人との 関係	電 話	徒歩により学校までに 要する時間
1				
2				
3				
災害時引渡し確認票				
引取り者氏名		連絡先		
移動先		連絡先		
備考				

災害時の緊急対処用具一覧

○本校管理（本校準備用品）

管理場所（職員室入口の大型衣装ケース・ハンマーのみ副校長席後ろ）

携帯用拡声器(ハンドマイク)【2】 軍手【20】 ホイッスル【5】 懐中電灯【5】
 ガムテープ【1】 セロテープ【1】 罫紙【1】 ボールペン【黒赤各6】
 油性ペン【黒赤太細各2】 電池【単ⅠⅡⅢ各12、単Ⅳ1L】
 大ハンマー【2】 ヘルメット【10】 ヘッドランプ【3】

○防災課より配布（区が優先して使用する可能性が大）

保管場所（東階段倉庫）		保管場所（体育館災害倉庫）	
レスキューシート	600	毛布	400枚
ガソリン1L	4	ブルーシート	50枚
オイル1L	1	災害救助用機ラッカー	2100食
マンホールトイレ	2	サバイバルフーズ	900食
平バール	1	カーペット	30枚
ボルトカッター	1	粉ミルク（300g）	96缶
折り込みのこぎり	1	ミネラルウォーター500ml	432本
大ハンマー	1	哺乳瓶	60本
カケヤ	1	カセットコンロ	1
ツルハシ	1	カセットガスボンベ	9
ショベル	1	スズラン灯8連	2
トラロープ	1	発電機	1
牛革手袋	2	洋式簡易トイレ(強化段ボール型)	2
ゴーグル	2		
防塵マスク	2	タグボックス1ケース 避難所開設・運営マニュアル、避難所レイアウト図等が入っています。	
レスキューホイッスル	2		
三角巾	1		
ガーゼ	2		
包帯	18		

非常用特設公衆電話 5台（NTT管理）

保管場所（主事室）

- ・災害時に本校職員又は、避難所開設員が設置
- ・避難民優先